

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第19週（令和7年5月5日～令和7年5月11日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・百日咳の報告が多い状況が続いています。百日咳に罹患すると、かぜ症状に始まり、次第に咳が激しくなります。飛まつや接触により感染しますので、こまめな手洗いや咳エチケットを心がけましょう。ワクチンの定期接種に関する詳細は、お住まいの市町村にお問合せください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihe.s.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	248	191	4,392
腸管出血性大腸菌感染症	7	37	27	449
デング熱	1	4	1	50
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	36	8	554
急性脳炎	2	15	6	227
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	32	20	574
後天性免疫不全症候群	1	15	7	259
侵襲性肺炎球菌感染症	3	59	67	1,671
水痘（入院例）	1	8	11	196
梅毒	10	279	159	4,542
百日咳	110	895	1,746	14,267

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル（※）

：注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	95	0.78	1.07	4,227	1.10
インフルエンザ	119	0.98	1.32	3,039	0.79
急性呼吸器感染症	5,212	42.72	0.98	214,921	56.51
RSウイルス感染症	13	0.19	0.25	1,160	0.50
咽頭結膜熱	31	0.44	0.82	919	0.39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	205	2.93	1.05	5,350	2.29
感染性胃腸炎	622	8.89	1.05	15,672	6.71
水痘	36	0.51	1.57	939	0.40
手足口病	3	0.04	0.30	220	0.09
伝染性紅斑	86	1.23	1.19	2,712	1.16
突発性発しん	35	0.50	0.92	752	0.32
ヘルパンギーナ	1	0.01	1.00	44	0.02
流行性耳下腺炎	5	0.07	0.45	171	0.07
急性出血性結膜炎	1	0.04	—	27	0.04
流行性角結膜炎	5	0.19	0.71	537	0.79
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	11	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	17	0.04
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	152	0.32
クラミジア肺炎	0	0.00	—	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	14	0.93	7.00	121	0.25

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。